施策体系シート（行政経営Bシート）

作成者	組織	文化振興課	職	課　長	氏名	池田　誠
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値（年度）	現状値（年度）	現状値（年度）	評価
施策1	兼六園周辺文化の森活性化の推進	兼六園周辺文化施設入館者数	人	653,000 (H25)	673,840 (H24)	(H25)	
施策2	個性的な文化創造社会の形成	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数	人	13,000 (H25)	12,679 (H24)	(H25)	
施策3	音楽文化の創造・発信・交流の促進	音楽堂入場者数	人	252,000 (H25)	265,158 (H24)	(H25)	
施策4	伝統文化の継承、発展と文化芸術に親しむ機会の充実	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	108,000 (H25)	108,960 (H24)	(H25)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題									課題に対する主な取り組み					評価	
施策	課題		成果指標	単位	目標値（年度）	現状値（年度）	現状値（年度）		事務事業	対象	予算（千円）	決算（千円）	これまでの有効性	今後の方向性
施策1	課題	兼六園周辺文化施設の活性化	再 兼六園周辺文化施設入館者数	人	653,000 (H25)	673,840 (H24)	(H25)		兼六園周辺文化施設活性化事業費	一般県民	8,400			
									前田育徳会尊経閣文庫分館魅力発信事業費	一般県民	639			
									歴史博物館移動展費	一般県民	3,000			
			美術館入館者数	人	450,000 (H25)	408,642 (H24)	(H25)		美術館展覧会費（企画展示費）	一般県民	31,528			
			石川四高記念文化交流館入館者数	人	140,000 (H25)	134,003 (H24)	(H25)		石川四高記念文化交流館事業費	一般県民	15,289			
施策2	課題	表現・鑑賞機会の充実	再 芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数	人	13,000 (H25)	12,679 (H24)	(H25)		芸術鑑賞推進事業費負担金	小・中学生	4,231			
								再	兼六園周辺文化施設活性化事業費	一般県民	8,400			
									いしかわの能楽鑑賞事業費	一般県民	3,500			
			ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭参加団体数	団体	45 (H25)	44 (H23)	45 (H24)		ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費	一般県民	54,000			
施策3	課題1	音楽文化の創造・発信	再 音楽堂入場者数	人	252,000 (H25)	265,158 (H24)	(H25)		音楽堂自主事業費補助金	一般県民	15,847			
									地域文化振興推進事業費補助金	一般県民	10,700			
								再	ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費	一般県民	54,000			
			ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭来場者数	人	100,000 (H25)	104,771 (H24)	(H25)		ラ・フォル・ジュルネ金沢開催費	一般県民	43,000			
	課題2	音楽文化を担う人材の育成	いしかわミュージックアカデミー参加者数	人	4,000 (H25)	4,984 (H24)	(H25)		いしかわミュージックアカデミー開催事業費	国内外若手音楽家、一般県民	14,420			
施策4	課題	伝統文化の継承と発展	再 音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	108,000 (H25)	108,960 (H24)	(H25)		伝統芸能技能向上支援事業費	一般県民	3,000			
								再	いしかわの能楽鑑賞事業費	一般県民	3,500			
								再	ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費	一般県民	54,000			
								再	兼六園周辺文化施設活性化事業費	一般県民	8,400			
								再	ラ・フォル・ジュルネ金沢開催費	一般県民	43,000			
								再	芸術鑑賞推進事業費負担金	小・中学生	4,231			

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	兼六園周辺文化施設活性化事業費	事業開始年度	H17	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
組　織	文化振興課	
職・氏名	専門員　今村　友紀枝	
電話番号	076　－　225　－　1371　内線　3853	

事業の背景・目的

兼六園周辺文化の森の賑わいを創出するため、各文化施設、関係機関等との連携により、活性化推進事業を実施する。

事業の概要

1　兼六園周辺文化の森ミュージアムウィークの開催
　　各文化施設が連携し文化芸術イベントや協賛行事を開催
　　（各文化施設、本多の森公園）
2　文化の森スタンプラリーの開催
　　県及び金沢市の文化施設を対象
3　金沢芸妓の舞の実施
　　文化施設鑑賞パスポート付き：能楽堂別館
4　文化の森マップ、イベントガイドの発行
　　年2回作成
5　いしかわの伝統文化魅力発信事業の実施
　　兼六園・金沢城公園の四季折々のイベント等と連携した催しを文化施設にて開催
　　年3回（6月、11月、2月）：能楽堂別館、四高、美術館

以上、交付先：兼六園周辺文化の森活性化推進実行委員会

6「冬の観能の夕べ」の開催（2月、能楽堂）
　　若手能楽師による能楽公演の実施

交付先：いしかわの能楽鑑賞事業実行委員会

7　石川県・金沢市文化施設共通鑑賞パスポートの期間限定販売
　　ミュージアムウィーク事業の一環として実施し、各施設の周遊促進を図る。
　　対象施設：県3施設（美術館、四高記念館、伝統産業工芸館）
　　市16施設（中村記念美術館、能楽美術館、鈴木大拙館など）
　　販売価格：500円
　　有効期間：2日間
　　販売期間：10月（1ヶ月間）

これまでの見直し状況

施策・課題の状況

施策	兼六園周辺文化の森活性化の推進	評価	
課題	兼六園周辺文化施設の活性化		
指標	兼六園周辺文化施設入館者数	単位	人

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
653,000	757,255	671,194	642,716	673,840	

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	7,800	7,400	8,000	9,500	8,400
	決算	7,800	7,400	5,432	9,500	
一般財源	予算	7,800	7,400	8,000	9,500	8,400
	決算	7,800	7,400	5,432	9,500	
事業費累計		42,600	50,000	55,432	64,932	73,332

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	前田育徳会尊經閣文庫分館魅力発信事業	事業開始年度	H21	事業終了予定年度	－
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	県立美術館
	職・氏名	主幹 七野啓一
	電話番号	076 － 231 － 7580 内線 6510

事業の背景・目的

美術館リニューアルオープンに併せ「尊經閣文庫分館」が開設されたことを受け、前田育徳会尊經閣文庫の所蔵品のすばらしさを県民に紹介するためのPR事業を積極的に展開し、「尊經閣文庫分館」の周知と観覧者増を図る。

事業の概要

1　文化講座の開催

前田育徳会尊經閣文庫の所蔵品収集に力を注いだ加賀藩歴代藩主の姿を、前田家に関わる人及び他の大名家との比較を通して、深めていく連続講座として開催する。

開催回数　　年3回

講座概要（案）

第1回	前田家の歴史	講師	元金沢市史専門委員　長山　直治氏
第2回	尊經閣文庫	講師	公益財団法人前田育徳会理事　菊池　紳一氏
第3回	江戸時代の藩主の生活	講師	北陸大学教授　長谷川　孝徳氏

講　　師　　歴史家、郷土史家等の著名人（予定）

会　　場　　石川県立美術館ホール

対 象 者　　一　般

定　　員　　各回200人

特　　典　　講座参加者は、講座当日のコレクション展観覧料は無料

2　尊經閣文庫のパンフレット作成

前田育徳会尊經閣文庫の文化財等所蔵品のすばらしさを県民に紹介するため、PR用パンフレットを作成する。

施策・課題の状況

施策	兼六園周辺文化の森活性化の推進	評価	
課題	兼六園周辺文化施設の活性化	評価	
指標	兼六園周辺文化施設入館者数	単位	人

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
653,000	757,255	671,194	642,716	673,840	

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	2,500	1,500	1,000	800	639
	決算	2,244	1,006	950	749	
一般財源	予算	2,500	1,500	1,000	800	639
	決算	2,244	1,006	950	749	
事業費累計		2,500	4,000	5,000	5,800	6,439

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性（費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性（県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	歴史博物館資料展示費（移動展費）	事業開始年度	S 62	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	歴史博物館
	職・氏名	総務課主幹　西村　学
	電話番号	076　－　262　－　3236　内線　6511

事業の背景・目的

平成25年度はリニューアル工事閉館のため、毎年開催している「特別展」に代わり、「移動展」を実施する。
(1)　リニューアル休館にあたり、県民サービス機関・教育機関・観光施設としての博物館の機能低下を補う。
(2)　普段、地理的な事情から触れる機会の少ない加賀・能登地区で、名品・優品を紹介し、歴史博物館への関心を促したい。
(3)　リニューアルに向けた情報を分かりやすく提示し、広報宣伝にも努める。

事業の概要

(1)場所と期間
①加賀：小松市立博物館　平成25年7月20日（土）～8月25日（日）

②能登：石川県七尾美術館　平成25年9月21日（土）～10月27日（日）

③金沢：石川四高記念文化交流館　平成25年11月30日（土）～12月23日（祝・月）

(2)展示内容
①タイトル：「大名行列がやってきた！－優品にみる加賀藩－」
近世資料の名品・優品を中心に、各地区に関連した地域色のある資料を展示する。
②主な展示品：
「加賀(かが)藩(はん)大名(だいみょう)行列(ぎょうれつ)図(ず)屏風(びょうぶ)」（昭和初期 1940年頃）
「白糸(しろいと)威(おどし)二枚(にまい)胴(どう)具足(ぐそく)」　（江戸時代 17～18世紀）
「加州(かしゅう)金平(かなひら)鉱山図(こうざんず)」(県指定有形文化財)（江戸時代 1788年）
など約40点
※四高記念館の場合は、「モダン金沢と民衆文化」をタイトルに、大正昭和初期の演劇・映画関係のポスター、チラシ、台本、ブロマイドなどを展示予定。

(3)関連企画
①特別講演会　加賀・能登の2回を対象に、加賀藩の歴史と文化について、講演会を実施する。
②ギャラリートーク　当館学芸員が出張して、展示解説を行う。
③ワークショップ　甲冑・お姫様衣装の試着体験、からくり人形の実演等を行う。(加賀・能登)
④リニューアルの広報活動　広報パネルやCG映像等でPR活動を実施する。

これまでの見直し状況
毎年新たなテーマを企画設定して事業を実施

施策・課題の状況

施策	兼六園周辺文化の森活性化の推進	評価	
課題	兼六園周辺文化施設の活性化		
指標	兼六園周辺文化施設入館者数	単位	人

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
653,000	757,255	671,194	642,716	673,840	

事業費

(単位：千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	18,465	14,393	5,568	6,057	3,000
	決算	16,432	16,353	5,011	6,054	
一般財源	予算	3,256	7,316	1,569	2,527	3,000
	決算	1,191	11,278	1,356	2,524	
事業費累計		167,889	184,242	189,253	195,307	198,307

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	美術館展覧会費（企画展示費）	事業開始年度	S58	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
組織	美術館	
職・氏名	主幹　七野　啓一	
電話番号	076　－　231　－　7580　内線　6510	

事業の背景・目的

美術に対する理解を深めるため、特定のテーマにもとづく内外の作品による企画展を開催し、優れた美術鑑賞の場を提供する。

事業の概要

1　「国宝　薬師寺展」

①会期　平成25年4月26日～6月23日　59日間

②展示内容

薬師寺東塔大修理・復興及び白鳳伽藍再建10周年記念、北國新聞社創刊120周年記念及び石川県立美術館開館30周年記念として開催する。薬師寺は平成10年にユネスコ世界遺産に登録された「古都奈良の文化財」の主要寺院であり、日本を代表する古寺に伝わる貴重な文化財を一堂に展示する。主な展示作品は国宝「聖観世音菩薩立像」、国宝「吉祥天女像」、国宝「慈恩大師像」など国宝6件を含む薬師寺の至宝44件を展示する。石川県立美術館、北國新聞社、薬師寺の3者による実行委員会方式による展覧会開催は初めての試みとなる。

2　「俵屋宗達と琳派展」

①会期　平成25年9月14日～10月14日　31日間

②展示内容

俵屋宗達の後継者俵屋宗雪が加賀藩の御用を務めたことから、本県には宗達の流れを汲む宗雪や喜多川相説及びその工房の作品が数多く伝来し、大正3年には「金沢宗達会」が設立されるなど当地の文化・美意識に大きな影響を与えている。当美術館が平成25年に開館30周年を迎えるにあたり、石川県、金沢という視点から宗達・宗雪・尾形光琳などの名作を展示、日本美の精華と言われる琳派芸術の神髄を再認識する展覧会である。主な展示作品は俵屋宗達作の国宝「蓮池水禽図」、重文「西行法師行状絵詞」、「舞楽図」、尾形光琳作の重文「風神雷神図」など約60点を展示する。

3　「石川県立美術館名作の森展」

①会期　平成25年12月21日～平成26年2月11日　47日間

②展示内容

本県は、江戸時代から加賀藩前田家の保護育成政策により、文化の華が開き、その伝統が今日まで継続されている。古美術の歴史的名作が伝承し、人間国宝、芸術院会員に認定される作家も多く、美術工芸分野において水準の高い地域として全国に知られている。当館はその伝統的な芸術的個性を活かした地方色豊かな美術館として親しまれ、同時に地域文化の集積を目指して、作品の収集を積極的に行っていることから全国の収集家から優れた作品の寄託を数多く受けている。本展は、開館30周年を迎えるにあたり、当館を代表する秀作群と寄託作品を展示し、新幹線開業を控えてその魅力を全国に発信することを目的に開催する。主な展示作品は野々村仁清作国宝「色絵雉香炉」、重文「色絵雌雉香炉」、重文「色絵梅花図平水指」など約100点を展示する。

施策・課題の状況

施策	兼六園周辺文化の森活性化の推進	評価	
課題	兼六園周辺文化施設の活性化	評価	
指標	美術館入館者数	単位	人

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
450,000	427,822	390,711	360,740	408,642	

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	30,096	17,076	20,660	20,189	31,528
	決算	21,423	16,556	14,277	20,189	
一般財源	予算	10,951	6,276	7,336	8,182	6,144
	決算	△ 7,962	5,737	9,274	8,035	
事業費累計		77,197	93,753	108,030	128,219	159,747

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	石川四高記念文化交流館事業費	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
組織	石川四高記念文化交流館	
職・氏名	課長　吉田　裕之	
電話番号	076 － 262 － 5464	

事業の背景・目的

石川四高記念文化交流館は、四高の歴史と伝統を伝える展示に加え、旧四高の教室を多目的に利用できる「石川四高記念館」と石川県ゆかりの文学者の資料を展示する「石川近代文学館」によって構成され、兼六園周辺文化の森の新しい「学びとふれあいの複合文化スペース」として平成20年4月に開館した。

これらの施設を多くの方々に利用していただくため、企画展示やイベント等を実施する。

事業の概要

1　石川四高記念館

・施設の概要

四高と四高生を育んだ風土と時代を知るための展示

旧四高教室を学習や発表の場として利用できる多目的利用室(有料)の設置

・主な事業

常設展示（4室）

企画展の実施

レトロ展映画ポスター　（4月～3月）

小中学校絵画展

三文豪館とのスタンプラリー

講座の開催（フレッシュ新三々塾　年8回）　など

2　石川近代文学館

・施設の概要

石川県ゆかりの文学者の著書・原稿・愛蔵品等を一堂に集めた総合文学館

（財団法人石川近代文学館へ事業を委託）

・主な事業

常設展示（8室）

企画展の実施

「はじまりのものがたり－絵本の世界－」　（4／13～8／18）

絵本原画等を一同に並べる「目に楽しい」企画展とし、幅広い年齢層が楽しめる展示とする。

「生誕110年を超えて中野重治と出会う」　（9／14～11／24）

福井県生まれで、四高出身の中野重治の原稿を中心に展示する

「西のぼる原画展－初出　小説が生まれるところ－（1／18～3／23）

ほとんどの小説は、新聞や雑誌に掲載されて発表される。これを「初出」と呼ぶ。今回は、この「初出」を小説の生まれたところと位置づけ、「初出」には、かかせない挿絵を西のぼる氏の原画

ワークショップ、イベント（朗読会、文学講座、研究会など）の実施

施策・課題の状況

施策	兼六園周辺文化の森活性化の推進	評価	
課題	兼六園周辺文化施設の活性化		
指標	石川四高記念文化交流館入館者数	単位	人

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
140,000	130,386	134,596	132,380	134,003	

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	15,742	15,476	15,322	15,754	15,289
	決算	15,571	14,946	14,640	15,511	
一般財源	予算	12,694	12,852	12,354	12,354	12,455
	決算	13,509	12,408	12,353	12,851	
事業費累計		31,142	46,088	60,728	76,239	91,528

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	芸術鑑賞推進事業費負担金	事業開始年度	S57	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	文化振興課
	職・氏名	主任主事　佐成　美穂
	電話番号	076　－　225　－　1372　内線　3847

事業の背景・目的

子供たちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し芸術文化の振興を図るとともに、舞台芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

事業の概要

県内市町で下記の事業を実施する。

1　児童・生徒オーケストラ鑑賞教室
（財）石川県音楽文化振興事業団（OEK）に委託　　県内で5公演を実施

2　スクールシアター（児童演劇公演）
（社）日本児童演劇協会に委託　　県内で7公演を実施

3　古典芸能鑑賞教室
「越後獅子」班　（杵屋弥三辰社中、田中杉芙勢社中、藤間勘菊社中）
「春の海」班　　（釣谷雅楽房社中、前川晴笙中、藤間勘寿々社中）
この2班で県内6公演を実施

これまでの見直し状況

施策・課題の状況

施策	個性的な文化創造社会の形成				評価	
課題	表現・鑑賞機会の充実					
指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数				単位	人
目標値	現状値					
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
13,000	14,976	12,787	13,081	12,679		

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	5,741	4,521	4,521	4,231	4,231
	決算	5,741	4,371	4,521	4,187	
一般財源	予算	5,741	4,521	4,521	4,231	4,231
	決算	5,741	4,371	4,521	4,187	
事業費累計		271,889	276,260	280,781	284,968	289,199

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	いしかわの能楽鑑賞事業費	事業開始年度	H3	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	文化振興課
	職・氏名	主任主事　佐成　美穂
	電話番号	076　－　225　－　1372　内線　3847

事業の背景・目的

定期的に能楽を上演、鑑賞する機会を設けることにより、能楽愛好者の増加と能楽楽師の技術向上の契機とし、もって本県の文化振興を図る。

事業の概要

内　容　「観能の夕べ」上演　能と狂言を各1番
日　時　平成25年7月6日～8月31日　毎週土曜日
午後6時30分～午後8時30分
全9回（特別公演1回、一般公演8回）
会　場　石川県立能楽堂
主　催　いしかわの能楽鑑賞事業実行委員会
対　象　一般
入場料　特別公演　3，000円／回
一般公演　1，000円／回

これまでの見直し状況

施策・課題の状況

施策	伝統文化、伝統工芸など文化資産の継承と発展	評価	
課題	伝統文化の継承と発展		
指標	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	単位	人

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
108,000	101,824	116,571	102,617	108,960	

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	4,200	4,200	4,200	3,500	3,500
	決算	4,200	4,200	1,051	3,500	
一般財源	予算	4,200	4,200	4,200	3,500	3,500
	決算	4,200	4,200	1,051	3,500	
事業費累計		56,100	60,300	61,351	64,851	68,351

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭開催費	事業開始年度	H10	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	文化振興課
	職・氏名	主事　東谷　友里恵
	電話番号	076　－　225　－　1372　内線　3848

事業の背景・目的

県民の文化理解の向上を促進するとともに、本県の質の高い文化を県の内外に発信する。これにより、県民が郷土に誇りを持ち、文化活動を通じ、活力ある地域づくりに自発的、積極的に参画する機運を醸成する。

事業の概要

1　実施主体　ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、
　　（財）石川県芸術文化協会

2　実施時期　平成25年9月29日（日）～11月24日（日）

3　会　場　県下一円（公共ホール等）

4　事業内容
（1）芸術祭の中心となる音楽公演
（2）本県ゆかりの芸能等公演
（3）芸術文化団体による公演
（4）協賛事業（芸術祭の趣旨に賛同する会期中の市町村、公共ホール自主事業・
　　ただし財政的な支援はなし）

5　参加団体数
　45団体

6　事業費　負担金54，000千円
　　（交付先：ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会）

施策・課題の状況

施策	伝統文化、伝統工芸など文化資産の継承と発展	評価	
課題	伝統文化、伝統工芸など文化資産の継承と発展		
指標	ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭参加団体数	単位	団体

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
45	43		44		

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	54,000	2,300	54,000	2,300	54,000
	決算	54,000	2,300	54,000	2,300	
一般財源	予算	54,000	2,300	54,000	2,300	54,000
	決算	54,000	2,300	54,000	2,300	
事業費累計		286,100	340,100	342,400	396,400	398,700

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	音楽堂自主事業費補助金	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	文化振興課
	職・氏名	主事　競荘介
	電話番号	076　－　225　－　1372　内線　3850

事業の背景・目的

藩政時代から培われてきた邦楽文化と、オーケストラ・アンサンブル金沢に代表される洋楽文化の発信拠点としての音楽堂において、魅力ある多彩な自主事業を実施し、石川の音楽文化の振興を図る。

事業の概要

1　音楽堂自主事業基本コンセプト

A　優れた演奏家の招聘
B　若手・地元芸術家の支援
C　音楽ファンの拡大

2　事業内容

(1)コンサートホール（12事業）
・シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭合唱団
・ソフィアゾリスデン公演
・クラシック・フォー・キッズ
・ランチタイムコンサート　他

(2)邦楽ホール（10事業）
・日本芸能の源流「祭」
・雅楽
・干支の芸能
・文楽公演　他

(3)交流ホール（3事業）
・午後の音楽散歩
・室内楽コンサート
・音楽堂アワー　他

計　25事業

施策・課題の状況

施策	音楽文化の創造・発信・交流の促進	評価	
課題	音楽文化の創造・発信		
指標	音楽堂入場者数	単位	人

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
252,000	235,219	272,940	238,540	265,158	

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	30,700	25,420	21,196	17,817	15,847
	決算	30,700	25,420	21,196	17,817	
一般財源	予算	15,700	10,420	21,196	17,817	15,847
	決算	15,700	10,420	21,196	17,817	
事業費累計		504,600	530,020	551,216	569,033	584,880

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	地域文化振興推進事業費補助金	事業開始年度	H2	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	文化振興課
	職・氏名	主事　競荘介
	電話番号	076　－　225　－　1372　内線　3850

事業の背景・目的

現代音楽の作曲や県民がオーケストラへの親しみと理解を深める事業、ジュニアオーケストラ及びアンサンブル金沢合唱団の振興育成を図る事業などに補助することにより、本県の音楽文化の普及向上を図る。

事業の概要

① 芸術文化創作事業

コンポーザーインレジデンスとして著名作曲家にオーケストラ・アンサンブル金沢のレパートリーとなる現代音楽の作曲を委嘱し、新しい音楽の創造を図る。

② 特別文化事業の開催

他のオーケストラとの共演やオペラなどの公演、芸術文化創作事業により作曲された新曲を披露する演奏会を開催する。

・オペラ「こうもり」

日時　平成26年2月16日　　会場　県立音楽堂

③ オーケストラ入門コンサートの開催

広く県民に、親しみやすいオーケストラを認識してもらうため、日頃よく耳にする身近な曲目を中心にコンサートを開催する。

会場：本多の森ホール

④ オーケストラ実践講習会

県内中学生・高校生やアマチュア音楽指導者を対象にオーケストラ・アンサンブル金沢楽団員等による講習会を開催し、本県の音楽水準の向上と人材の育成を図る。

⑤ ジュニア・オーケストラ育成事業

小学校4年～中学校3年生までの生徒で構成するジュニア・オーケストラの育成を図り、青少年の音楽資質の向上に寄与する。

⑥ オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団育成事業

アマチュアの合唱愛好家を募り、その合唱団の育成を図り、音楽文化の普及に寄与する。

⑦ 新人登竜門コンサートの開催

部門：管・打楽器、声楽　　審査委員：オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督 他　演奏会：1回

これまでの見直し状況

※ H17年度に地域文化振興推進事業費補助金と音楽文化普及事業費補助金を統合

施策・課題の状況

施策	音楽文化の創造・発信・交流の促進	評価	
課題	音楽文化の創造・発信		
指標	音楽堂入場者数	単位	人

目標値	現状値				
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
252,000	235,219	272,940	238,543	265,158	

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	10,700	10,700	10,700	10,700	10,700
	決算	10,700	10,700	10,700	10,700	
一般財源	予算	10,700	10,700	10,700	10,700	10,700
	決算	10,700	10,700	10,700	10,700	
事業費累計		272,300	283,000	293,700	304,400	315,100

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	ラ・フォル・ジュルネ金沢開催費	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	文化振興課
	職・氏名	主事　宮村理恵
	電話番号	076　－　225　－　1372　内線　3851

事業の背景・目的

フランス発祥のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」を、2008年から金沢で開催し、近年では、全国から10万人以上の来場者を集めるなど、石川の音楽文化の発信において着実な成果をあげてきている。
2年後に迫った北陸新幹線金沢開業を見据えながら、今後も、世界的な音楽祭としてのブランド力を活かし、この音楽祭を発展させていく必要があり、6回目となる2013年は、金沢市中心部や加賀・能登地域での公演を通し、更なる交流人口の拡大や地域の活性化に貢献する。

事業の概要

1 (1) 事　業　名：ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭2013

(2) 開催時期：平成25年4月27日（土）～5月4日（土・祝）　8日間

(3) 会　　場：金沢市内（金沢駅周辺、金沢市中心部等）、加賀・能登地区、富山県内、福井県内

(4) 主　　催：ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭実行委員会
会長　前田　利祐　（第18代前田家当主）

(5) 内　　容：オーケストラ公演、合唱、室内楽公演、吹奏楽　ほか
約170公演（有料：約60公演、無料：約110公演）

(6) 主な出演者：【国　内】
オーケストラ・アンサンブル金沢、北陸三県をはじめとする全国の演奏団体ほか
【国　外】
フランス国立ロワール管弦楽団、パリ・コロンヌピアノ四重奏団（フランス）、
パブロ・サインス・ビジェガス（スペイン）ほか

(7) 入　場　料：500円～2，500円

2　負担金額　43，000千円

施策・課題の状況

施策	個性を活かした文化と学術の地域づくり				評価	
課題	音楽文化の創造・発信					
指標	来場者数				単位	人
目標値	現状値					
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
100,000	93,178	108,916	118,355	104,771		

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	10,000	10,000	13,000	13,000	43,000
	決算	10,000	10,000	13,000	17,976	
一般財源	予算	10,000	10,000	13,000	13,000	43,000
	決算	10,000	10,000	13,000	17,976	
事業費累計		15,000	25,000	38,000	55,976	98,976

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	いしかわミュージックアカデミー開催事業費	事業開始年度	H10	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	文化振興課
	職・氏名	主事　宮村理恵
	電話番号	076　－　225　－　1372　内線　3851

事業の背景・目的

国内外の著名な講師による高いレベルのレッスンを行い、世界に通用する若手音楽家の育成と石川の音楽文化の振興を図る。

事業の概要

1　事業名　　2013いしかわミュージックアカデミー

2　期　間　　平成25年8月16日（金）～25日（日）　10日間

3　会　場　　石川県立音楽堂、石川県青少年総合研修センターほか

4　主　催　　いしかわミュージックアカデミー実行委員会
　　会　長　石川県知事　谷本正憲

5　内　容

（1）スクール部門
　① マスタークラス：プロを目指す若い音楽家を対象
　　ヴァイオリン50人、チェロ18人、ピアノ18人
　② 基礎クラス：地元で音楽を学ぶ人達を対象
　　ヴァイオリン5人、ピアノ13人
　③ 受講生発表会（マスタークラス）

（2）コンサート部門
　① ライジングスターコンサート：　過去のIMA音楽賞受賞者などの若手演奏家によるコンサート
　② IMA講師チェンバーコンサート：　IMA講師とOEKメンバーの共演
　③ ミニコンサート　　：　受講生による演奏（病院、学校等）

（4）フェローシップ制度
　　優秀な受講生にIMA音楽賞を授与し、次年度のアカデミーに奨学生として招聘

施策・課題の状況

施策	音楽文化の創造・発信・交流の促進				評価	
課題	音楽文化を担う人材の育成					
指標	いしかわミュージックアカデミー参加者数				単位	人
目標値	現状値					
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
4,000	3,512	3,938	4,598	4,984		

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	16,700	15,800	15,175	14,420	14,420
	決算	12,300	15,800	15,175	14,420	
一般財源	予算	16,700	15,800	15,175	14,420	14,420
	決算	12,300	15,800	15,175	14,420	
事業費累計		357,600	373,400	388,575	402,995	417,415

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	伝統芸能技能向上支援事業	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等			

作成者		
	組　織	文化振興課
	職・氏名	佐成　美穂
	電話番号	076　－　225　－　1372　内線　3847

事業の背景・目的

H24年10月に県の無形文化財として「金沢素囃子」「一調一管」を指定し、その保持者を「いしかわの至宝」に認定したことを契機とし、藩政期から受け継がれてきた本県の個性でもある金沢芸妓による伝統芸能のさらなる質の向上と継承を図る。

事業の概要

○　芸の発表の場の創出

（1）　事業名

金沢芸妓の舞（予定）

（2）　事業内容

県民や観光客に、金沢芸妓による芸（踊り、太鼓、お座敷遊びなど）を披露する。

①会場

県立音楽堂和室

②実施期間等

平成25年11月1日～平成26年3月31日の実施期間内に年18回開催

③出演

ひがし、にし、主計町の各茶屋街の芸妓

④対象者

県民や県外からの観光客（各回定員30名程度）

これまでの見直し状況

施策・課題の状況

施策	伝統文化の継承、発展と文化芸術に親しむ機会の充実				評価	
課題	伝統文化の継承と発展					
指標	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数				単位	人
目標値	現状値					
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
108,000	101,824	116,571	102,617	108,960		

事業費

（単位：千円）		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算					3,000
	決算					
一般財源	予算					3,000
	決算					
事業費累計			0	0	0	3,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 （費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか）		
今後の方向性 （県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか）		